

2026.1.27 旧大隈邸跡清水門散策 新年会&小島さん感謝の会 報告書

無風快晴、まさに永年の晴男である小島さんの感謝の会を兼ねた散策の会をご報告いたします。明治14年の政変で下野された大隈重信侯が福沢諭吉と宴会で初めて話し合い決断した若者の育成において、学校を作ることをご判断された時のお住い旧大隈邸跡から清水門の散策を行いました。



散策された方々は、左より馬道・中村さん・滑志田さん・関口さん・中島さん・小島さん奥様
中島さん奥様・志賀さん・牧野さん・小島さん・原田さん・森川さんの12名様です。

清水門をくぐり、二年前小島さんが銅像を巡るで散策された吉田茂像を通り武道館へ、田安門から九段下駅から早稲田へ、大隈講堂前に集合し記念撮影を行いました。



左より原田さん・森川さん・中村さん・馬道・牧野さん・小島さん・関口さん、小島さん奥様
滑志田さん・小島さん奥様・中島さん奥様・中島さん・辻さん・志賀さん・桑田さんの14名様

『謝 小島恕雄さん』の横断幕は、金子さんの筆によります

奥様がお持ちの花束は、20年間の内助の功に感謝し馬道からお贈りしました

大隈重信侯の旧邸跡は、雉子橋の地名で明治政府の近衛師団(北の丸公園)から近距離で当時NO3に
実質NO1の地位であった大隈侯の四度目(築地：現料亭新喜楽→日比谷公園内→神田)の邸宅でした
5000坪の敷地に和式建築と洋館があり、後にフランス大使館として活用されました。

新年会&小島さん感謝の会は、当時学生会館でしたがバリケードが張られ中に入れなかった26
号館15階森の風で行いました。桑田さんの新年のご挨拶と乾杯のご発声、ご歓談中にお書きいた
だいた皆さんの色紙と記念のボールペンを進呈いただきました。小島さんは「生活の一部に
なっていて苦労はなかった」等のお言葉をいただき志賀さんの手締めでお開きとなりました。



地下鉄東西線竹下駅から散策開始



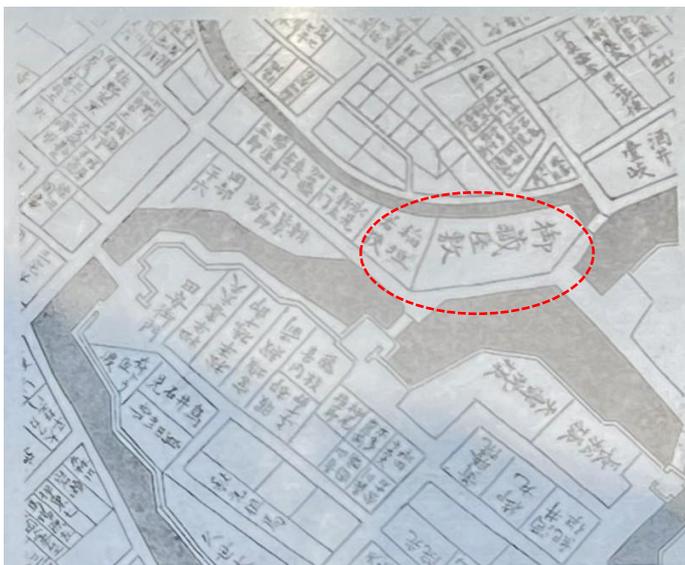
↑この二つのビルが旧大隈邸跡5千坪です



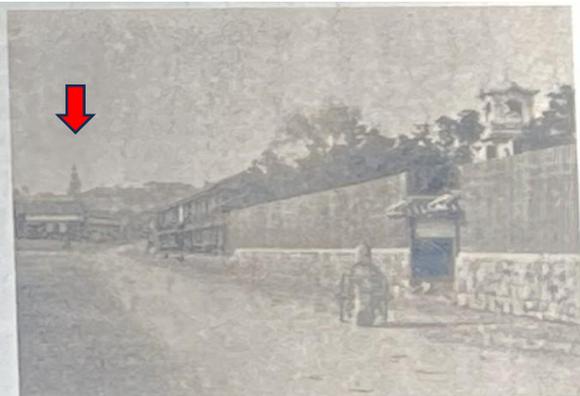
早稲田大学125年記念事業の一環として2007年12月に大学と千代田稲門会で建立された記念碑の前で記念撮影 (ちなみに千代田稲門会は2024年段階で120名の会員)

大隈侯はご存じの通り125歳まで生きる とおっしゃてました
大隈講堂の時計台は 百二十五尺 約41.25mの高さです
この記念碑の時計も 一時二十五分を指しています

←毎年7月に千代田稲門会の皆さまがお掃除されています



近世初頭の周辺図（『正保年間江戸絵図』【部分】）



大隈重信邸（奥には九段坂上の常燈明台がみえる）
（提供：平凡社）

監修：千代田区教育委員会

近年の発掘調査で元は水田を埋め立てたことが解り、当時の石垣は今の千代田区役所の建物の周囲に復元されています。この地は東大、東京外国語大学や一橋大学など発祥の地でもあります。 **学生には風光明媚な場所で学んでほしい** と江戸時代より人気のある早稲田の地を選びました（上の右の写真の奥に建つのは常燈明台と言う灯台で田安門を出たところに現存しています）

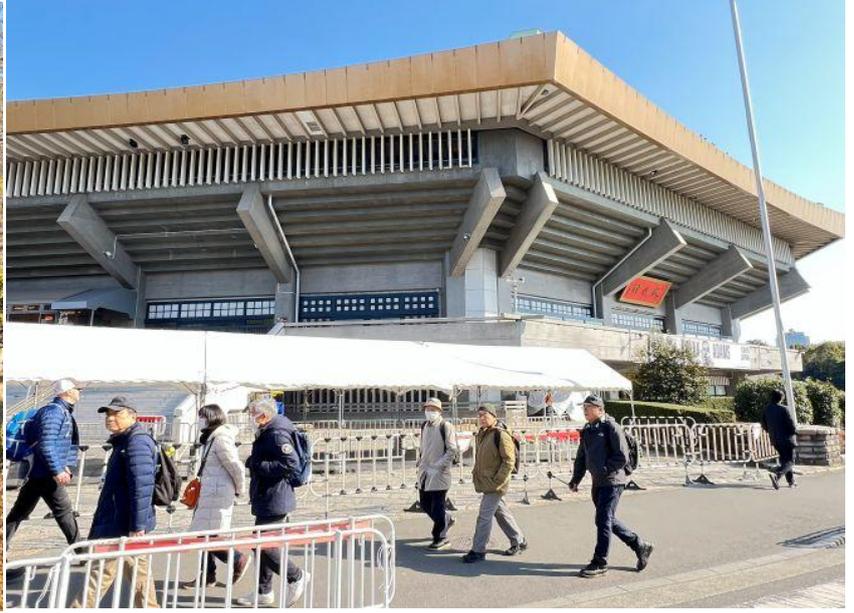


この洋館と推測され 大隈重信侯が早稲田の別館に本宅を移された後にフランス大使館になった。この屋敷には1876(明治9)年から1884年までの8年間お住いで 多くの著名人の方々や政治家の方々が出入りされたと思われま





北の丸公園に建つ吉田茂像



武道館前を歩く



田安門をくぐり九段下駅へ向かう



左に九段会館お堀は日本橋川で自然のまま

【新年会&小島さん感謝の会】



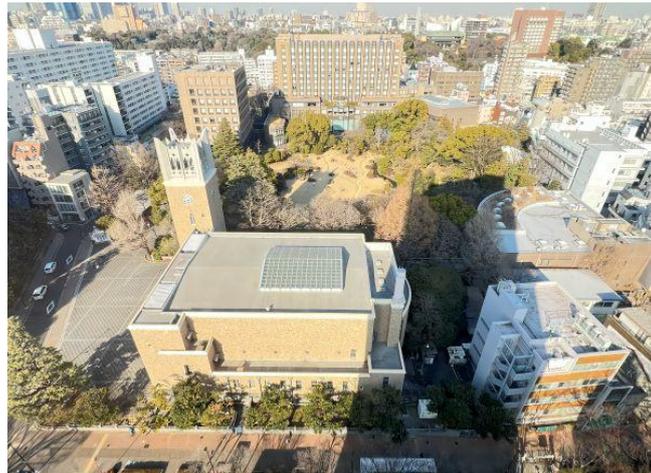


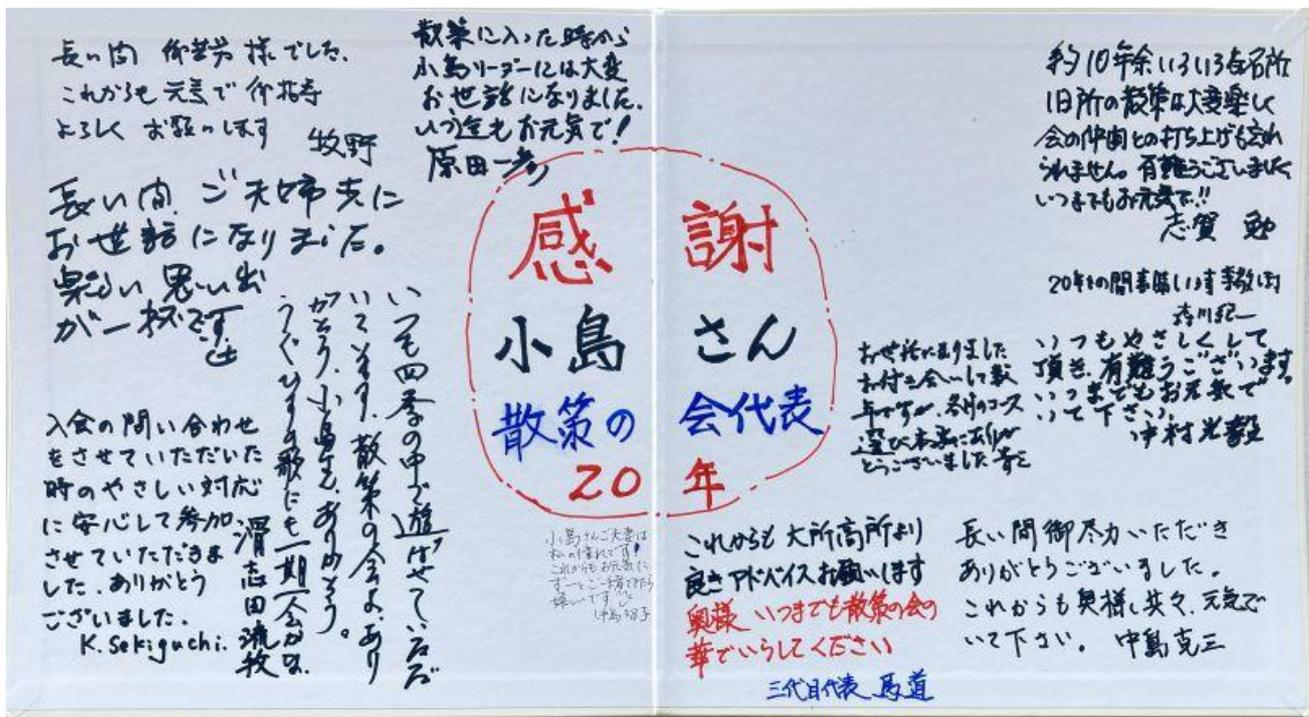
← 桑田さんのご挨拶と乾杯のご発声で乾杯

↑ 明るい展望の良いレストランです
少し食べ物が足りない方もいらっしゃった



↑ 牧野さん撮影





小島さん、20年間 散策の会の代表 誠にありがとうございました
 そしてご苦勞様でした 苦勞は無かったとおっしゃっていますが 私が二年近く
 させていただけてますが なかなかのたいへんなお仕事？です
 奥様の内助の功もありきっと 二人三脚でないと二十年は長いと思います
 これからもお元気で散策にお越しく下さいませ！

【俳句】

志
賀
さ
ん

散策の感謝の会や冬うらら
 枯葦や千鳥ヶ淵のささら波
 冬ざれて緑青古りぬ田安門

馬
道

万作や失意に立てり学の道
 二十年礼にあつまり新年会
 半世紀閉鎖し店の年始酒

【編集後記】

昨年の新年会は「金子さん米寿記念」に続き今年は「小島さん散策の会代表二十年感謝の会」を開くことが出来ました。

皆さまの温かいご協力に感謝申し上げます。

今年は、西東京三田会に負けるな！とハッパをかけられました横断幕の作成を目指します。 文言も「西東京稲門会 散策の会」で良いか？

文字の前に大学のロゴを入れるのか？入れる場合は、Wか稲穂の校章マークか？ お聞きするとどちらにしろ大学の許可が必要らしい。

下地は、以前からの布？ 最近の化繊？

文字は、通常の文字かどなたかに描いていただき写植するのか？ 金額は？ などなど トライするべき山(丘くらいですが)がたくさんあります それを一つ一つ乗り越えて散策の会のごとく歩いて参ります

皆さま 今年もどうぞよろしくお願い致します

馬道